

サンプル（一部抜粋したものです。）



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2011年秋号
—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

- 1 今昔ペデ南下旅
— 亀ちゃんが、ペデ沿いの景色をお届けするシリーズ！今回は一の矢です。
- 2 筑波大学ニュース
— この夏、日本全体が取り組んだ節電。さて、筑波大の成果は？
- 3 快適☆宿舎生活
— 大学生です！女子です☆宿舎のお風呂レポートです！
- 4 留学生活の大変さ
— 中国人留学生が、中国でのキャンパスライフとの違いを回想しました。
- 5 ゆるっと、つくば～癒され手帖～
— 好評につき、ゆるっとシリーズ第2弾！今回も学内をゆるっとお散歩しました。
- 6 実録!!筑波大生の休日
— 筑波大生御用達の遊びスポットで、今日も馬場くんが飲み潰れます。
- 7 土浦の路地裏歩き
— ちょっと昔の遊び場をたどって。先輩の面影は、飲み屋のおやじに宿っていたのです。

1 今昔ペデ南下旅



台風の影響で暑さが和らぐ9月の昼下がりに。9月に入ったとはいえ、まだまだ木々には葉が茂り、セミの鳴き声もちらほら聞こえます。まだまだ夏ですね。そんな中、今回も一の矢付近をのんびりと歩いてきました。

一の矢と聞いて私が思い出すのは大学中央に続く坂です。1年生の頃、私は一の矢宿舎に住んでいました。アパートに引っ越した今では一の矢付近に行くことはほとんどありませんが、久しぶりに来てみれば、毎朝自転車を立ち漕ぎしながら坂を上ったこと、帰りには坂を一気に下って風を切りながら宿舎へ戻ったことを思い出します。夏の暑い日には、この風が火照った体にとっても気持ちいいものです。



一の矢には虹の広場もあります。虹の広場は春と秋に開催されるスポーツ・デーの会場でもあり、今年の春季スポデーでもソフトボールが行われていました。それ以外の時でも、スポーツを楽しむ学生の姿が時々見られます。そして虹の広場では夕暮れ時に夕焼けが見えます。その日の授業の疲れを癒してくれるような、ホッとできる景色です。この夕焼けを見るのが私の日課でした。



夜になると一の矢は真っ暗で「夜道の一人歩き危険」の標示まであるほどですが、昨年、共用棟辺りに青い灯りの街灯が建ちました。一の矢に住む友人と「これもこれでちょっと不気味だよな」なんて笑いあったこともありましたが。まだ1年しか経っていないのに懐かしさを感じるのだなと、感慨にふけるペデ南下旅でした。